

# 給食の歴史

【1889年～2022年】



1889年（明治22年）

山形県鶴岡町 貧しい児童を対象に、無料で学校給食を出す。給食の始まりとされる。



現在(R4年1月12日)



明治22年(おにぎり、塩鮭、菜の漬物)



1923年（大正12年）  
児童の栄養のため、給食がすすめられる。



現在（R4年1月12日）



大正12年（五色ごはん、栄養みそ汁）



1947年（昭和22年）

戦争が終わって全国300万人に対して給食がスタートする



現在（R4年1月12日）



昭和22年（トマトシチュー、脱脂粉乳）



# 1952年（昭和27年） 給食の品目(量)が増えていく



現在(R4年1月13日)



昭和27年(コッペパン、脱脂粉乳、くじら肉のたつたあげ、キャベツ、ジャム)



# 1956年 学校給食に関する決まりが作られる



昭和30年代 食事風景



# 1969～1970年 学校給食が「特別活動」として位置づけ



現在(R4年1月13日)



昭和44年(ミートスパゲティ、牛乳、フレンチサラダ、プリン)

# 1977年 学校給食に米を増やそうという働きかけ



現在(R4年1月12日)



昭和52年(カレーライス、牛乳、キャベツ  
バナナ、スープ)





# 1988年（平成元年） 学校給食100周年記念大会が行われる



バイキング給食



学校給食100周年記念大会



# 2003年（平成15年） 食に関する整備についての中間報告が出る



現在（R4年1月13日）




平成15年（米粉パン、鶏肉とカシュー  
ナッツ炒め、ツナキャベツ、コーンスー  
みかん、牛乳）





2022年  
今のように給食が当たり前になっていく





このような全国のみんなの頑張りがあり . . .



今の給食があります！！！！





これで発表を終わります

Thank you 